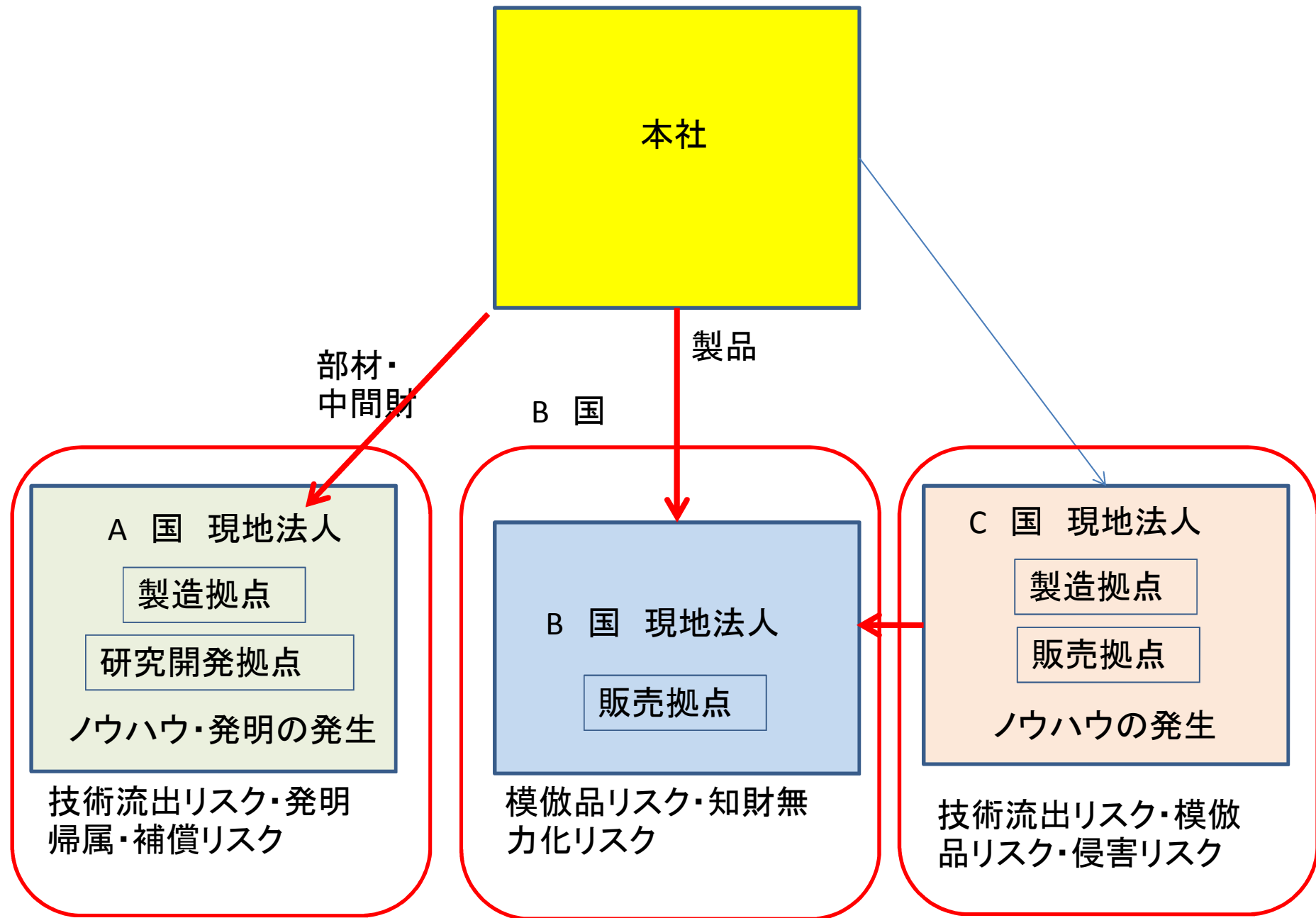


アジアでの今後の知財アクティビティの考察



ディスカッション

1. 模倣品の対策について
2. アジア各国に進出する際の技術移転に関する契約について
3. アジアにおける有効な知財マネジメントのための組織と人材

模倣品対策

- 模倣品多発国への出願強化、権利行使と声明発信
- 相手を絞込み模倣行為の早期停止を実行。
- 成功事例を他への警告などに利用
- 業界対応、政府協力、政府間交渉などとの連携（情報提供と支援要請）
- 現地のセミナー、啓発活動
- 現地での経験とノウハウの蓄積の重要性
- 現地でのミッションの明確化

進出する前から用意する現地法人との知財に関連する契約について

- 海外進出のステップ(市場調査、商標出願、特許、意匠、知財保証、知財確保、秘密保持)毎に、実施すべき事項の整理
- 知財権を確保した上でのライセンス契約の重要性
- ライセンス契約や開発委託契約の周到な準備
- 第三国への技術移転や制度面での課題
→不透明な移転価格税制の問題は課題

新興国におけるパテントクリアランス

- 組織を特定して調査
- 企業経営者の個人帰属出願に注意
- 業界団体に連携して調査

グローバル知財マネジメントのための 組織と人材

- コーポレートと地域本部や製造、販売拠点との関係の最適化
- 現地人材育成の重要性

進出する前から用意する現地法人との知財に関連する契約について

- 海外進出のステップ(市場調査、商標出願、特許、意匠、知財保証、知財確保、秘密保持)毎に、実施すべき事項の整理
- 知財権を確保した上でのライセンス契約の重要性
- ライセンス契約や開発委託契約の周到な準備
- 第三国への技術移転や制度面での課題

アジアにおける知財マネジメントの要諦とは

- グローバルに知財を管理するための知財権確保と契約によって、**知財のサプライチェーン**を戦略的に構築することの重要性。
- 事業目的ごとに存在する様々な知財に関するリスクマネジメントの実践を行う。
- そのための組織づくりを行い人材を育てる

■ パネリストの皆様 ご参加誠にありがとうございました

■ 会場の皆様 ご清聴誠にありがとうございました